

裏面白紙

勅授

三〇 〇 〇

丙 九 三 一

|    |    |   |   |   |
|----|----|---|---|---|
| 立案 | 昭和 | 年 | 月 | 日 |
| 決裁 | 昭和 | 年 | 月 | 日 |

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍大將末次信正位階追陞ノ件

昭和十九年十二月三十日裁可  
十二月廿九日達  
臺帳記入月  
六日官報報告済





故海軍大將末次信正位階追陞ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年十二月三十日

内閣總理大臣小磯國昭



内

閣



人閣第一七八號

|          |    |
|----------|----|
| 案        | 起  |
| 昭和十九年十二月 | 日  |
| 決定       | 裁可 |
| 昭和       | 昭和 |
| 年        | 年  |
| 月        | 月  |
| 日        | 日  |
| 施行       | 昭和 |
|          | 年  |
|          | 月  |
|          | 日  |

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官長

故海軍大將正三位末次信正ハ別紙功績調書ノ通功績顯著ナル者ニ候處本月二十九日死去ノ趣ニ付特ヒ目ヲ以テ左ノ通位階追陞ノ件上奏相成然ルヘシ

故海軍大將正三位末次信正

内閣

特ヒ目ヲ以テ位一級追陞セラル

正三位末次信正

叙從二位

十二月二十九日付



功績調書

故内閣顧問海軍大將正三位勲一等末次信正

右者明治三十四年一月、海軍少尉ニ出身以來、累進シテ、昭和九年、海軍大將ニ任ゼラレ、同十二年十月豫備役仰付ケラルル迄、軍務ヲ奉ズルコト三十有六年、其ノ間、第一潜水戦隊司令官、海軍省教育局長、海軍軍令部次長、舞鶴要港部司令官、第二艦隊司令長官、聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官、横須賀鎮守府司令長官、軍事參議官等ヲ歴任シ、殊ニ、ワシントン會議ニハ加藤海軍大將ノ下ニ随員トシテ派遣セラレ、克ク全權委員ヲ輔佐シテ

内閣

其ノ職責ヲ竭シ、又、ロンドン會議ニ於ケル兵力量決定問題ニ付テハ海軍軍令部次長トシテ之レヲ献策ニ努ムル所アリ、又聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官ニ親補セラレ、海ノ守護リノ完璧ニ盡ス等多年、皇軍ノ進展ニ寄與シタル功績大ナルモノアリ。次イデ、昭和十二年十二月近衛第一次内閣ニ内務大臣トシテ台閣ニ列シ、支那事變下ニ於ケル國務大臣トシテ重要國務ノ樞機ニ參畫シ忠誠恪勤補弼ノ重責ヲ竭セシノミナラズ、所管大臣トシテ所部ノ官吏ヲ統督シ内務行政ノ運営ニ力ヲ致シタル功績亦尠カラズ。尚内閣參議ヲ仰付ラレ支那事變ニ關スル重要國務



ノ筭書ニ參與シ又内閣顧問仰付ラレテ内閣總理大臣ノ政  
務運営ノ樞機ニ參シ就モ其ノ職責ヲ盡ス等終始一貫  
邦家ノ爲ニ貢獻シタル功績定ニ顯著ナリトス。

内閣

(竹田 訥)



履歴書

故内閣顧問海軍大將正三位勳等末次信正

明治三十三年六月三十日生

明治三三、三六 海軍兵學校卒業

海軍少尉候補生ヲ命ス

三四、一八 任海軍少尉

三五、一六 任海軍中尉

三七、七、三三 任海軍大尉

四二、一、十一 任海軍少佐

大正 三、一、一 任海軍中佐

七、一、一 任海軍大佐

補筑摩艦長

十九、二七 一ワシントン會議參列全權委員隨員被仰付

内閣

大正十二、十二、一 任海軍少將

補第一潛水戰隊司令官

十五、七、二六 補海軍省教育局長

昭和 二、一、一 任海軍中將

三、一、一 補海軍軍令部次長

五、一、一 補舞鶴要港部司令官

六、一、一 金杯一個ヲ賜フ倫敦海軍條約締結ノ功

十二、一 補第二艦隊司令長官

八、一、一 補聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官

九、一、一 敘勳一等授瑞寶章

三、一 任海軍大將

三、一五 敘從三位

四、二九 授旭日大綬章昭和六年乃至九年事變ノ功

十、一五 補橫須賀鎮守府司令長官



昭和十、十三、二、補軍事参議官

十二、四、一、敘正三位

十五、豫備役被仰付

十五、内閣参議被仰付

十三、十四、任内務大臣

十三、十四、依願内閣参議被免

十四、一、五、依願免本官

一、二〇、内閣参議被仰付

十五、一、二三、依願内閣参議被免

十九、十六、二八、内閣顧問被仰付

十九、十三、二九、薨去

内

閣



裏面白紙

五五八

陸海軍大將正三位末次信正

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十九年十二月三十一日

正三位末次信正

敍從二位

昭和十九年十二月三十一日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭  
令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年十二月三十一日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

内閣書記官長田中武雄殿

宮内省



裏面白紙

丙發第一號

一故海軍大將從二位末次信正

右位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和三十年一月二日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

内閣書記官長

宮内省